

トラック輸送情報（平成23年1月分）

平成23年4月27日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：中倉 内線28721

直通：03-5253-8347

ホームページ：http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html

1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

調査対象26社の本月の輸送量は、4,845,507トンで、前月と比べ総輸送量が約174万トン減少したため、前月比73.6%（季節調整済み106.8%）となり、前年同月との比較では、約1.2万トン減少したため、前年同月比99.8%の実績であった。

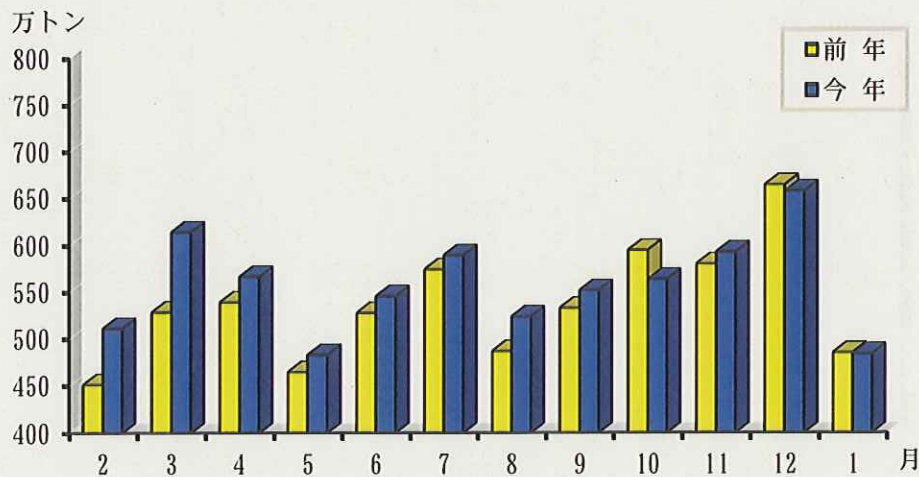
なお、平均稼働日数は21.8日で、前月と比べ1.7日減少し、前年同月との比較では、0.1日減少であった。稼働1日当たりの輸送量は、222,271トンで、前月と比べ約58千トン減少したため、前月比79.4%となり、前年同月との比較では、約5百トン増加したため、前年同月比100.2%の実績であった。

(図1-1、図1-2参照)

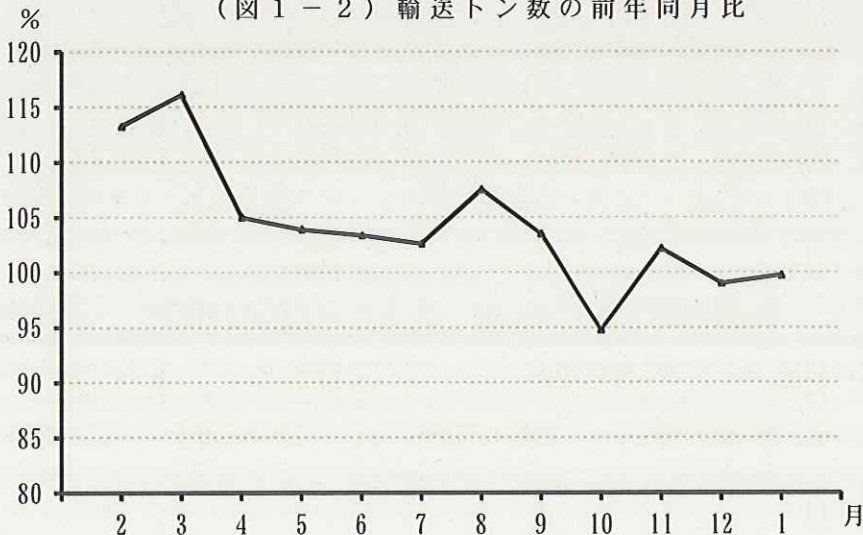
注) 平成22年7月から貨物輸送の調査対象については、1社減り、26社となった。

前月比及び前年同月比は、26社ベースで比較している（図1-1及び図1-2は26社ベースで作成）。

(図1-1) 輸送トン数の推移



(図1-2) 輸送トン数の前年同月比



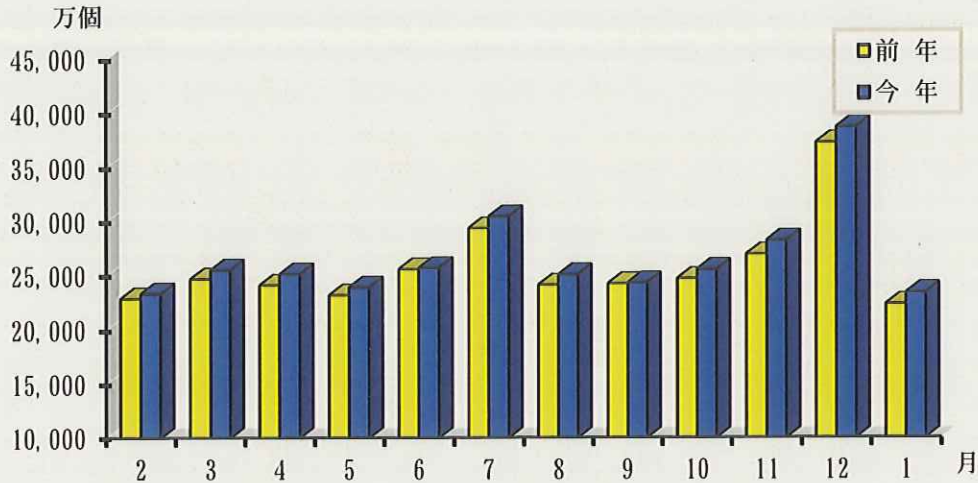
(2) 宅配便の概況

調査対象 17 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、234,495 千個で、前月と比べ 約 15,337 万個減少したため、前月比 60.5% (季節調整済み 105.1%) となり、前年同月との比較では、約 1,050 万個増加したため、前年同月比 104.7% の実績であった。

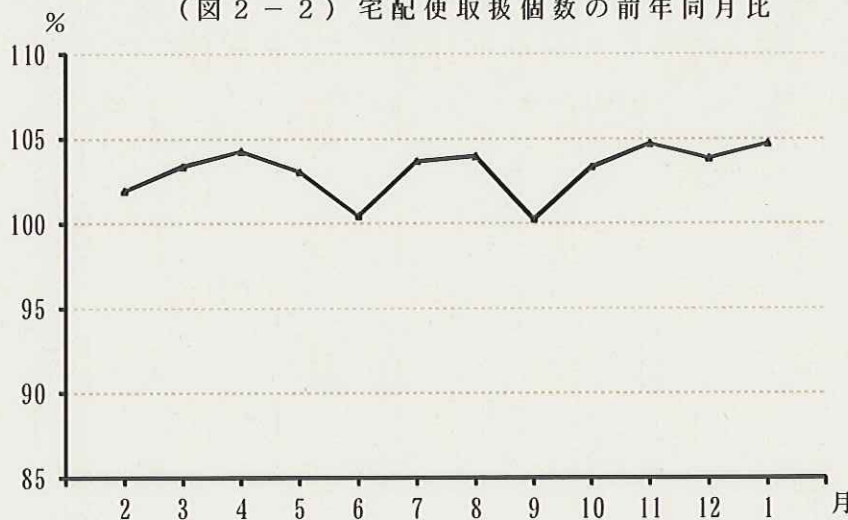
(図 2-1、図 2-2 参照)

注) 平成 22 年 7 月から宅配便輸送の調査対象については、事業承継により 1 社減り、17 社となった。

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 27 社の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、年末繁忙期が終了したことや正月休みによる稼働日数の減少等により、全般的に輸送量が減少した。減少要因としては、工場・生産地や倉庫からの貨物減がほぼ全ての品目に共通して見られたほか、「日用品」では、商社・問屋からの貨物減及び景気の影響も要因となっている。地域的には、「日用品」が全国的に減少したほか、「機械」、「化学工業品」が関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方及び中国で、「繊維工業品」、「食料工業品」、「その他 (宅配便等)」が関東、大阪等で減少している。

前年同月と比べると、工場・生産地からの貨物減等により、「農水産品」、「日用品」の輸送量が減少している。地域的には、「農水産品」が中国地方で、「日用品」が関東、近畿、中国、九州で減少している。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 27社)

品目	増減事業者数				主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※増減要因		
	著増	増	変らず	著減					
前 月 に 比 べ て	農水産品			9	5	4	野菜、果物	中国、九州	4
	金属製品			14	6	1		関東、北陸信越、中部	4, 7
	機械			12	7	2	機械部品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 8
	化学工業品			11	10	1	合成樹脂、その他の化学工業品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 8
	繊維工業品			14	6	1		神奈川、関東、北陸信越、愛知、大阪	4
	食料工業品			8	8	4	製造食品、飲料、その他の食料工業品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、四国	4, 7, 8
	日用品			8	9	5	書籍・印刷物、衣服、玩具、その他の日用品	北海道、東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、九州、全国	4, 5, 7, 8, 9
	その他	1		11	4	6	宅配便	関東地方、大阪、全国	4, 8
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品		1	12	1	3	野菜、果物	中国	4
	金属製品		3	14	3			北陸信越	
	機械	1	3	11	5			東京 愛知、大阪、中国	
	化学工業品		4	15	2				
	繊維工業品		4	15	2				
	食料工業品		3	14	2	1	飲料	北陸信越	
	日用品		6	11	3	2	書籍・印刷物、衣服、玩具	関東、近畿、中国、九州	4, 9, 10
	その他	1	5	11	3	2		全国 関東地方、中国	

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都府県(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都府県を含む場合はそれらを除く府県、九州は沖縄を含む)]単位である。なお、地方運輸局に6大都府県を含む場合は「～地方」と表記した。

※増減要因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者 785 社／調査対象事業者数 1,087 社）の輸送量は、前月比 88.4%、前年同月比 103.2%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北 信	陸 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前年同月比	103.2 %	108.5 %	99.5 %	103.4 %	103.4 %	96.6 %	107.5 %	100.6 %	103.6 %	101.8 %	94.0 %	
前 月 比	88.4 %	92.2 %	86.1 %	87.6 %	84.8 %	88.3 %	89.8 %	87.9 %	86.2 %	87.5 %	84.0 %	

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送については、対前月比92.2%、対前年同月比108.5%であった。品目別では、季節的需要増により、「廃棄物」の輸送量が大幅に増加した。一方、建設関連の需要減により、「砂利・砂・石材」、「木材」、「セメント」の輸送量が減少した。今後の見通しについては、次月はほぼ横ばい傾向、以降については減少傾向が予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送については、対前月比86.1%、対前年同月比99.5%であった。品目別では、工場・生産地からの貨物増等により、「機械」等の輸送量が増加した。一方、季節的需要減等により、「食料工業品」、「日用品」、「動植物性飼・肥料」、「取り合わせ品」等の輸送量が減少した。今後の見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送については、対前月比87.6%、対前年同月比103.4%であった。品目別では、季節的需要増により、「その他の石油製品」の輸送量が増加した。今後の見通しについては、次月減少傾向、以降についてはほぼ横ばい傾向が予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送については、対前月比84.8%、対前年同月比103.4%であった。品目別では、季節的需要増により、「その他の化学工業品」等の輸送量が増加した。一方、季節的需要減等により、「食料工業品」、「日用品」等の輸送量が減少した。今後の見通しについては、次月及び以降とも増加傾向が予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送については、対前月比88.3%、対前年同月比96.6%であった。品目別では、「機械」、「セメント」の輸送量が減少した。一方、貨物の輸送量が増加したとする事業者はなかった。今後の見通しについては、次月がほぼ横ばい傾向、以降については増加傾向が予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送については、対前月比89.8%、対前年同月比107.5%であった。品目別では、季節的需要増により、「化学薬品」の輸送量が増加した。一方、景気の影響等により、「食料工業品」、「日用品」、「その他の製造工業品」の輸送量が減少した。今後の見通しについては、次月は減少傾向、以降については増加傾向が予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送については、対前月比87.9%、対前年同月比100.6%であった。品目別では、年始による稼働日数の減少や季節的需要減により、「食料工業品」、「その他の製造工業品」の輸送量が減少した。また、天候の影響により、「木材」、「セメント」等の輸送量が減少した。今後の見通しについては、次月は増加傾向、以降についてはほぼ横ばい傾向が予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送については、対前月比86.2%、対前年同月比103.6%であった。品目別では、季節的需要減により、「野菜・果物」の輸送量が減少した。また、建設関連の需要減により、「鉄鋼」、「金属製品」の輸送量が減少した。今後の見通しについては、次月及び以降とも増加傾向が予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送については、対前月比87.5%、対前年同月比101.8%であった。品目別では、建設関連の需要増により、「廃棄物」の輸送量が増加した。一方、季節的需要減により、「食料工業品」、「取り合わせ品」等の輸送量が減少した。今後の見通しについては、次月は減少傾向、以降についてはほぼ横ばい傾向が予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送については、対前月比84.0%、対前年同月比94.0%であった。品目別では、建設関連の需要増により、「セメント」の輸送量が増加した。一方、季節的需要減により、「取り合わせ品」等の輸送量が減少した。また、運転手の年始休暇により輸送に影響があったとする事業者もいた。今後の見通しについては、次月及び以降とも増加傾向が予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局		北	東	関	北	中	近	中	四	九	沖	全
		増	減	海	北	東	陸	部	畿	国	国	州	縄	国
1. 穀物	増											1		1
	減	3	2		1								1	7
2. 野菜・果物	増	1	1							1		1		4
	減	2	1		2		1			3		7		16
3. その他の農産品	増													
	減	1								1	1	1	1	5
4. 畜産品	増					1						1		2
	減		2							1		3		6
5. 水産品	増													
	減	2	1		1	1				1	1			7
6. 木材	増	1	1		1						1	1	1	6
	減	5	1		1					2		2		11
7. 薪炭	増													
	減													
8. 石炭	増	2												2
	減													
9. 金属鉱物	増					1								1
	減											1		1
10. 砂利・砂・石材	増	3								2		1		6
	減	9	3		2	1				3		3		21
11. 工業用非金属鉱物	増	1	1							1		1		4
	減	3		1		1				1		1		7
12. 鉄鋼	増	1			1			1	1			1	1	6
	減	2	2	1	1				2	1		1	1	11
13. 非鉄金属	増		1						1	1				3
	減				1			2						3
14. 金属製品	増				1			1	1			2		5
	減	1	1	1	1	1	2			1		2		10
15. 機械	増		2		1			2	2			2		9
	減	1		1	3	3	2					3		13
16. セメント	増	1	1									1	1	4
	減	5	1		1	3			1			2		13
17. その他の窯業品	増	1												1
	減		2		2	1			2					7

運輸局		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
18.揮 発 油	増	1		1	2							4
	減		1		3				1			5
19.その他の石油製品	増	2	1	2				1	1	1		8
	減	2					1		1	1		5
20.コークス・ その他の石炭製品	増											
	減				1							1
21.化 学 薬 品	増		2				2					4
	減		1									1
22.化 学 肥 料	増							1				1
	減	2			2							4
23.その他の化学工業品	増		1		3					1		5
	減		1		1			2			1	5
24.紙 ・ パ ル プ	増		1		1			1	1		1	5
	減	2	2	1	1	1	1		1	1		10
25.織 維 工 業 品	増											
	減				1			1	1			3
26.食 料 工 業 品	増		2	1	1					4		8
	減	1	7	1	6		4	4		7	1	31
27.日 用 品	増	2						1		2		5
	減	2	3	1	3		2	3		3		17
28.その他の製造工業品	増		1					3	1			5
	減	1	1	1			1	3		1		8
29.金 属 く ず	増											
	減										1	1
30.その他のくずもの	増											
	減									1		1
31.動植物性飼・肥料	増	1		1								2
	減	3	7	2						2		14
32.廃 棄 物	増	11							1	2		14
	減	1						1	1			3
33.輸 送 用 容 器	増								1			1
	減		1		1			1		1	1	5
34.取 り 合 せ 品	増	1										1
	減		3	1				1	1	4	2	12
35.そ の 他	増	2	4	1			2	1				10
	減	3	1	4	1	1	2	3				15